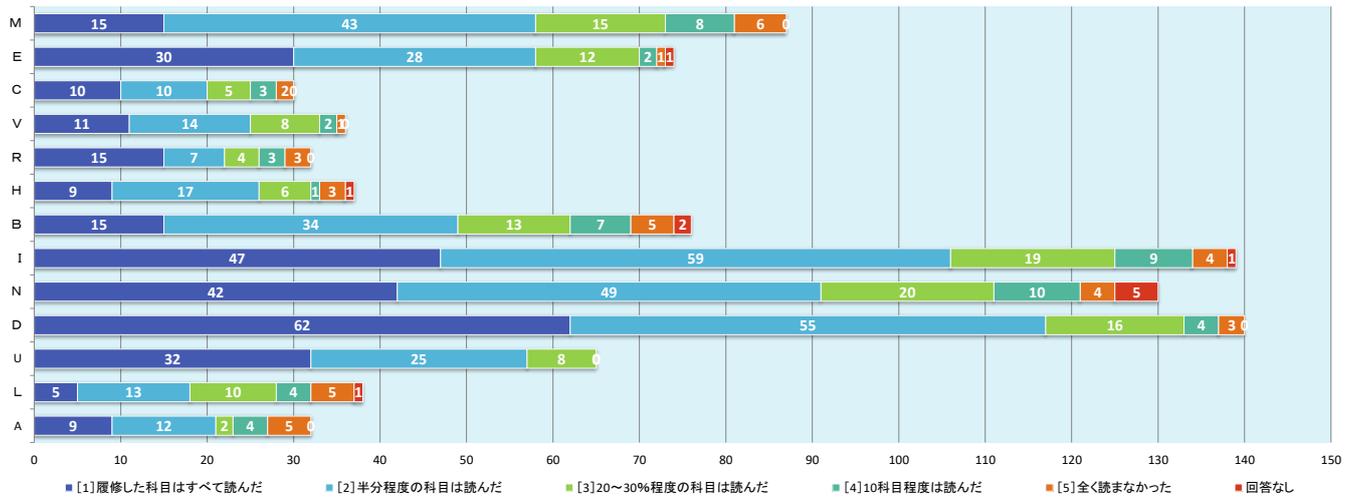


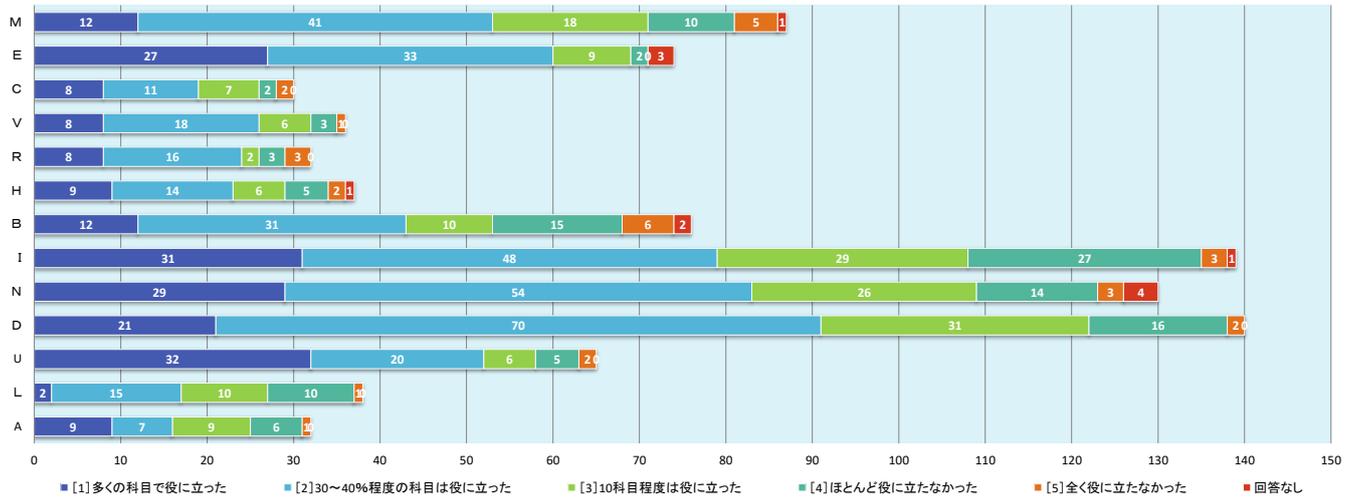
# 2024年度 学部卒業時アンケート集計結果

2025年4月3日

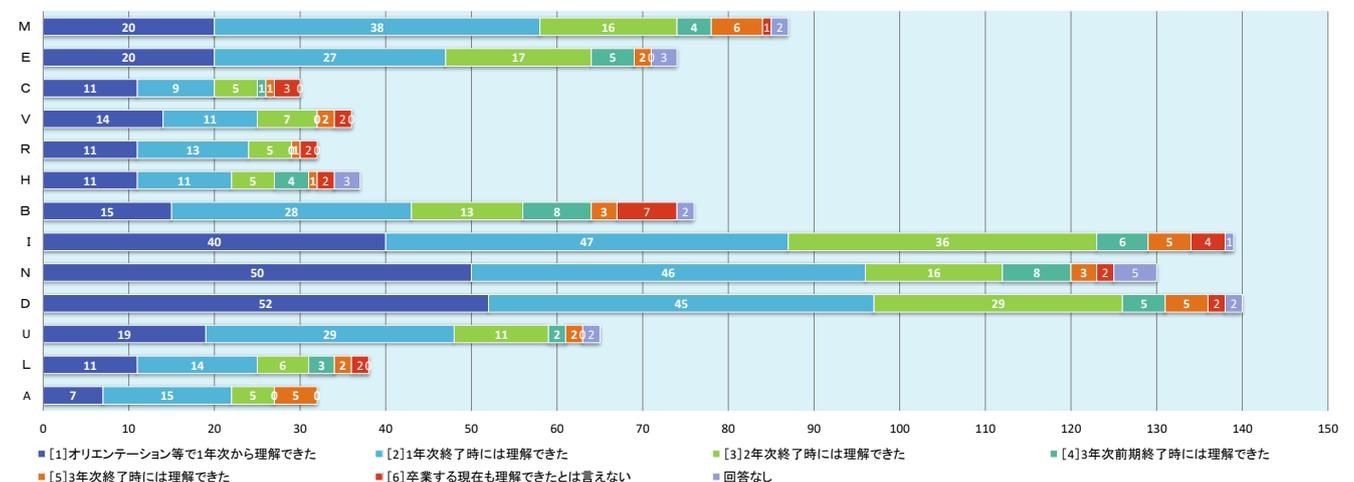
## 1. シラバスの活用に関してお聞きします



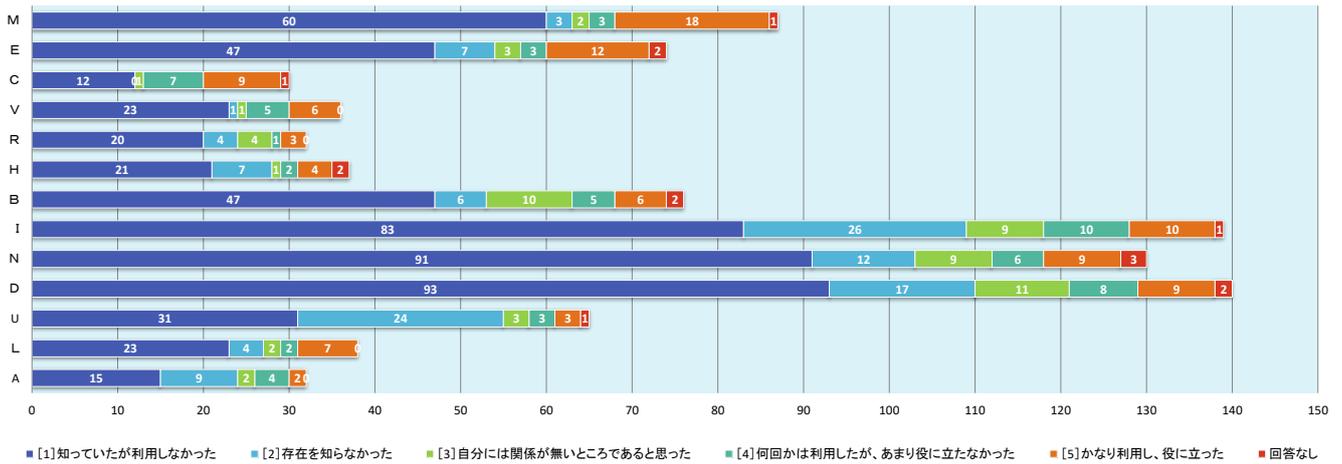
## 2. シラバスに記載の事前学修、事後学修についてお聞きします



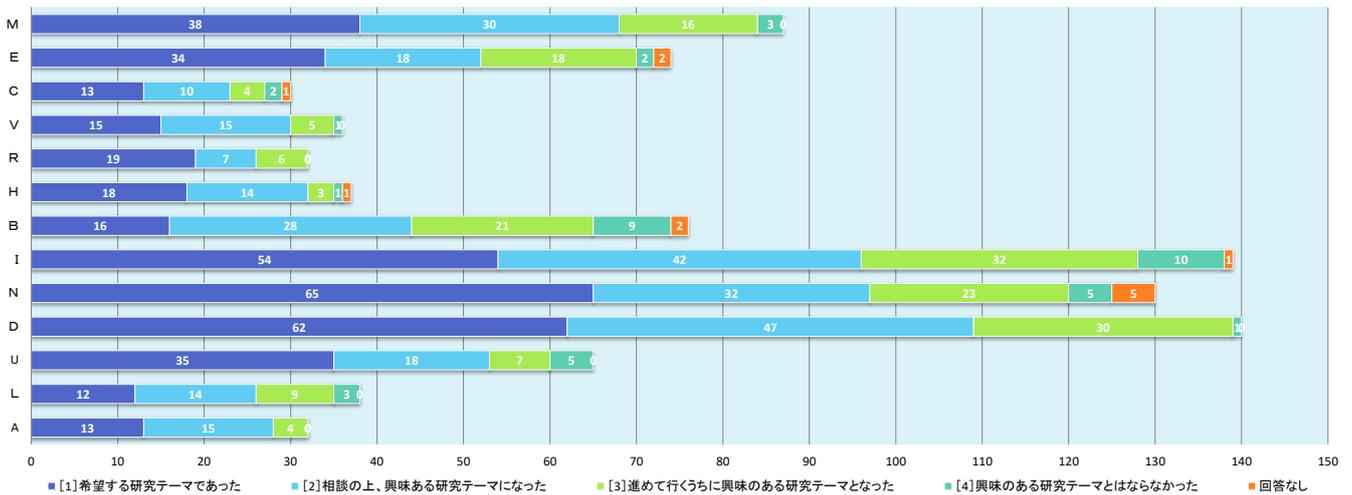
## 3. 大学の教育課程(カリキュラム) の理解についてお聞きします



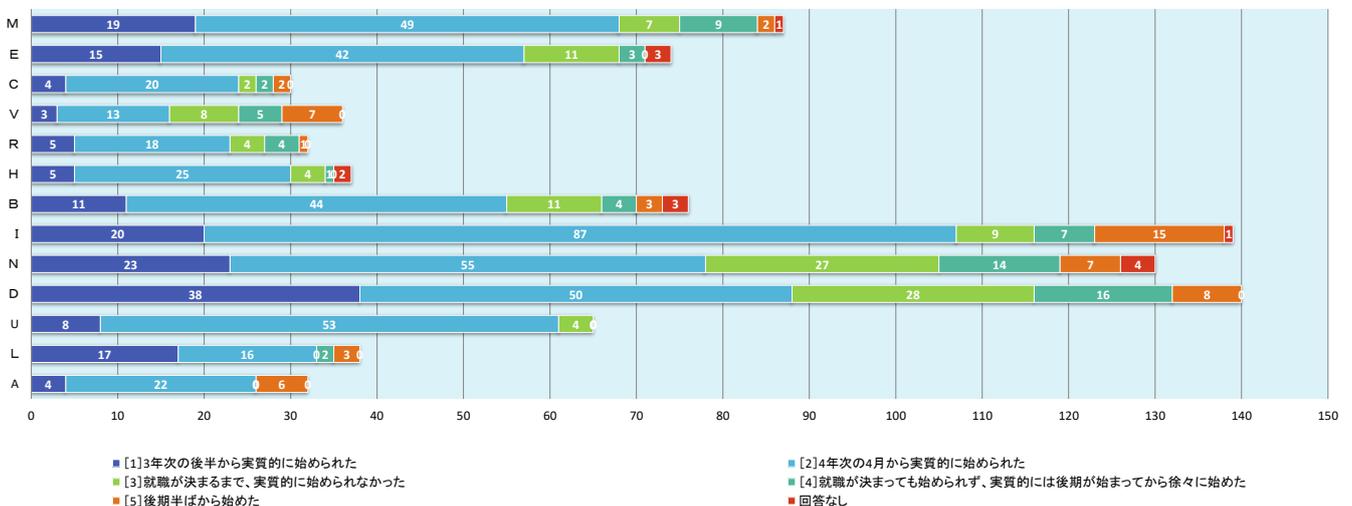
4. 基礎教育支援センターの活用についてお聞きします



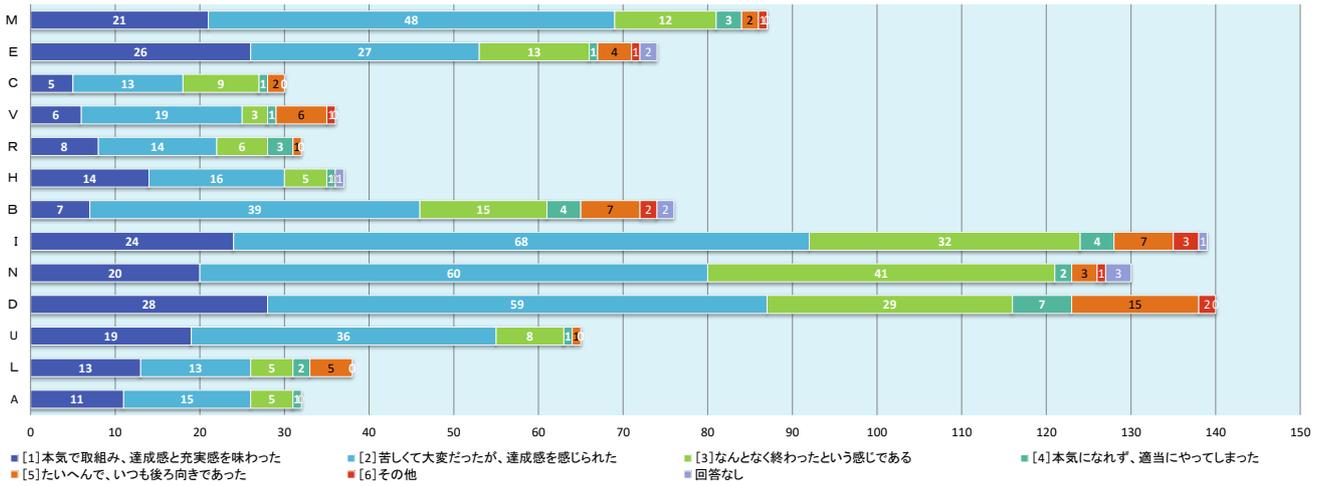
5. 卒業研究のテーマに関してお聞きします



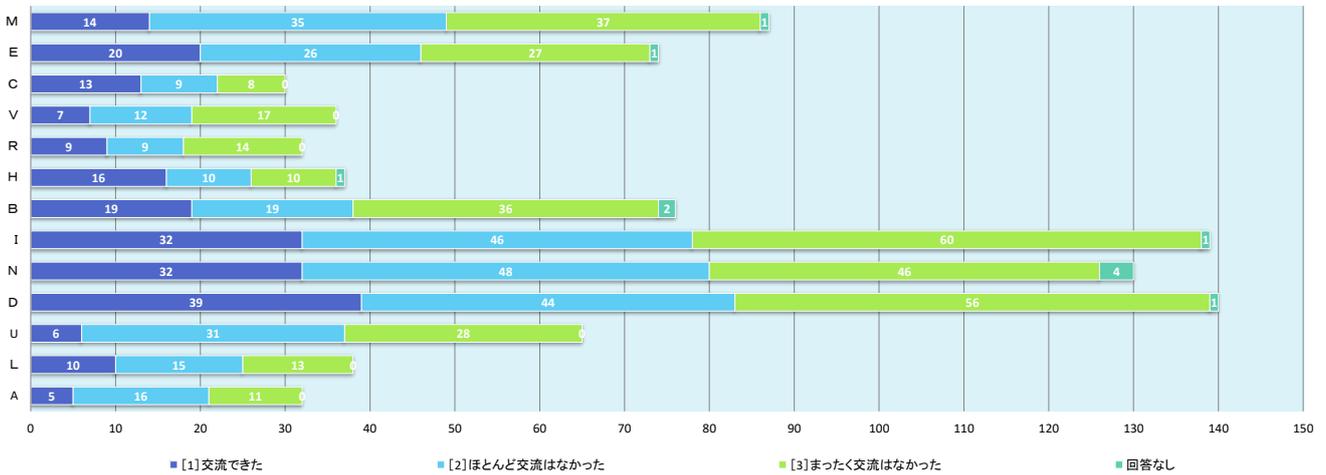
6. 卒業研究に充てた期間についてお聞きします



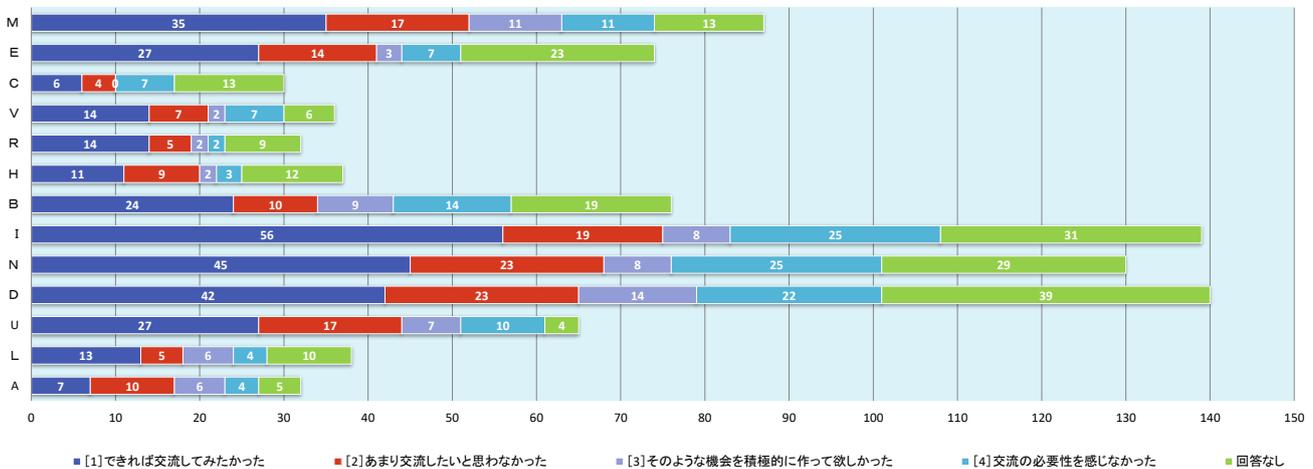
7. 卒業研究の取組みで、自分に該当すると思われるものを一つ選んでください



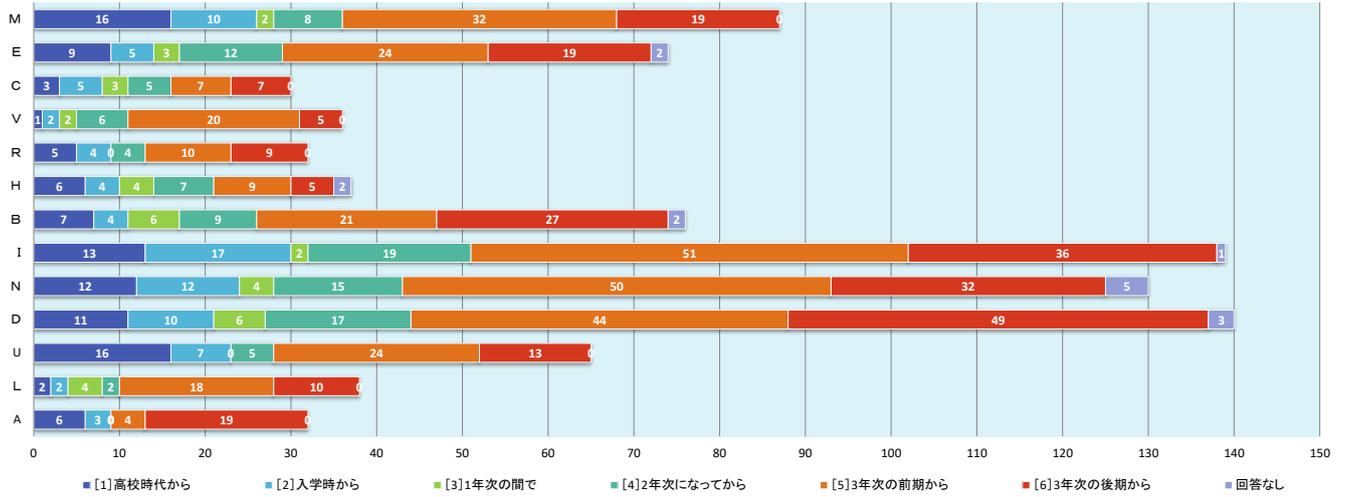
8. 部活動以外での他学科学生との交流についてお聞きます



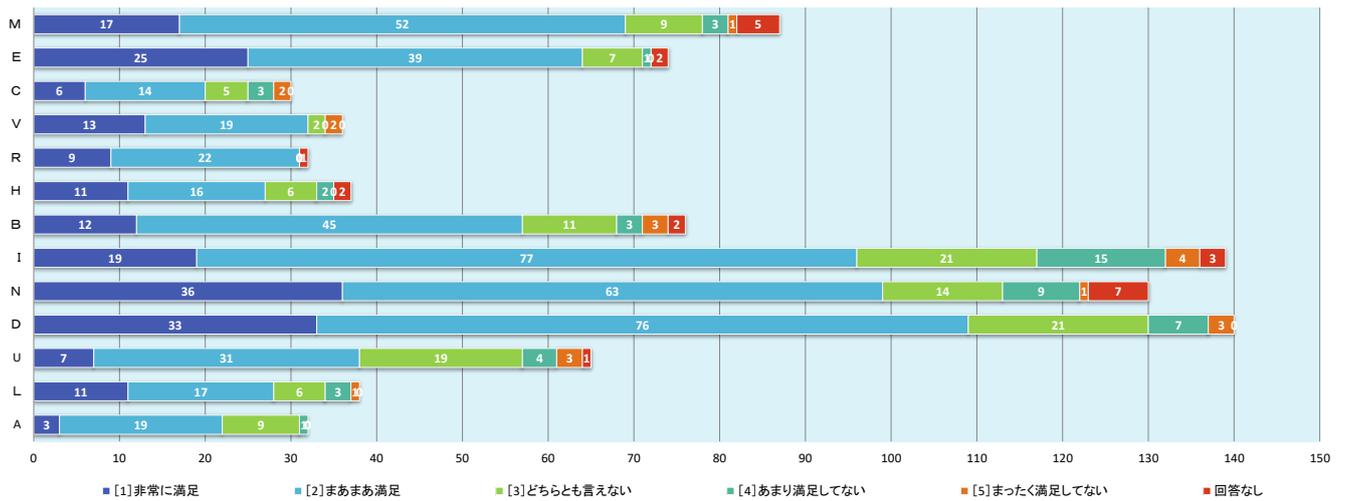
9. 8で[2]あるいは[3]と回答した方にお聞きます



10. 就職、大学院進学等の進路を意識し始めたのはいつごろからですか



11. 卒業するにあたって、総合的にみて、本学での学生生活の満足度についてお聞きます



## 2024年度 卒業アンケート提出率

	2023年度			2024年度		
	2024年3月 卒業者数	アンケート 提出者数	提出率	2025年3月 卒業者数	アンケート 提出者数	提出率
M	104	102	98.1%	90	87	96.7%
E	71	60	84.5%	81	74	91.4%
C	44	43	97.7%	50	30	60.0%
V	53	52	98.1%	37	36	97.3%
R	58	56	96.6%	33	32	97.0%
H	42	42	100.0%	38	37	97.4%
B	95	87	91.6%	78	76	97.4%
I	126	125	99.2%	148	139	93.9%
N	99	84	84.8%	147	130	88.4%
D	146	132	90.4%	148	140	94.6%
U	53	53	100.0%	65	65	100.0%
L	45	44	97.8%	37	38	102.7%
A	31	29	93.5%	33	32	97.0%
合計	967	909	94.0%	985	916	93.0%

2023年度卒業判定資料を使用(2024年3月11日)

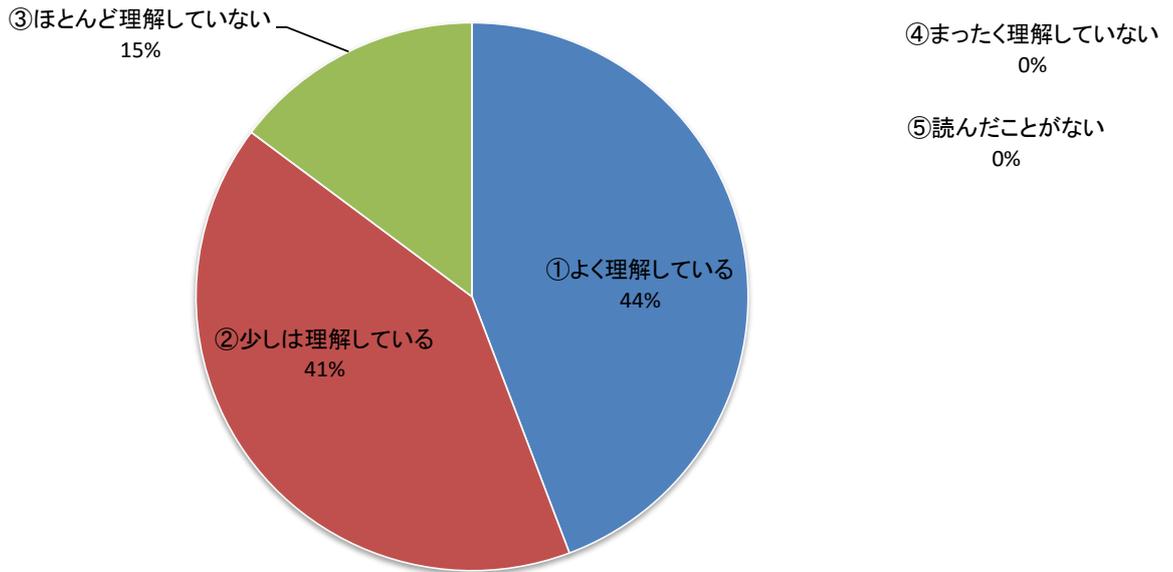
2024年度卒業判定資料を使用(2025年3月11日)

M	工学部	機械工学科
E		電気電子情報工学科
C		応用化学科
V	創造工学部	自動車システム開発工学科
R		ロボット・メカトロニクス学科
H		ホームエレクトロニクス開発学科
B	応用バイオ科学部	応用バイオ科学科
I	情報学部	情報工学科
N		情報ネットワーク・コミュニケーション学科
D		情報メディア学科
U	健康医療科学部	看護学科
L		管理栄養学科
A		臨床工学科

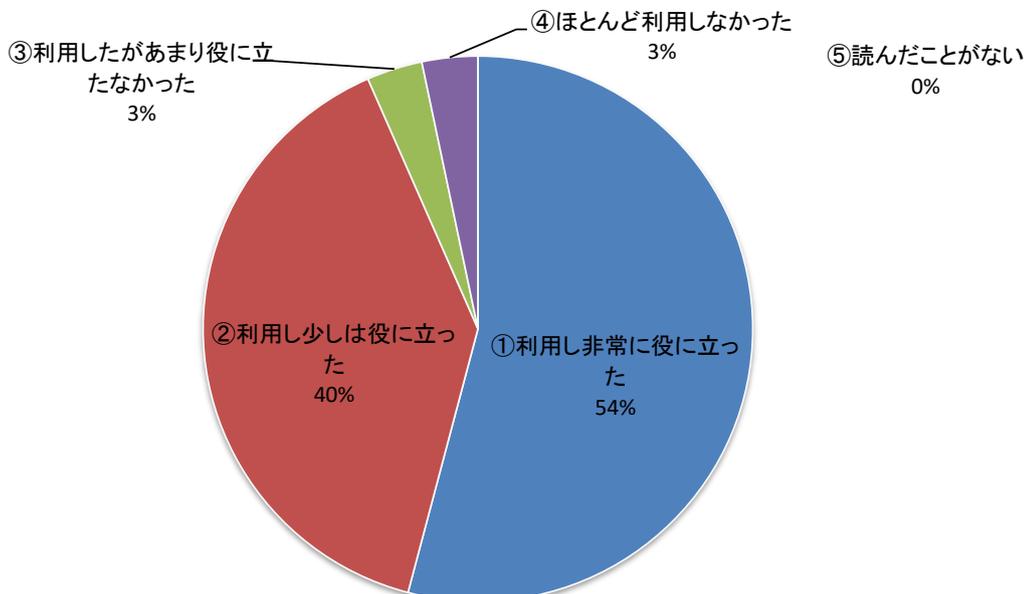
## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
計 61名/65名中

本学大学院またはあなたが所属する専攻の 人材養成の目的や教育方針を理解していますか	回答数 (人)	%
①よく理解している	27	44%
②少しは理解している	25	41%
③ほとんど理解していない	9	15%
④まったく理解していない	0	0%
⑤読んだことがない	0	0%



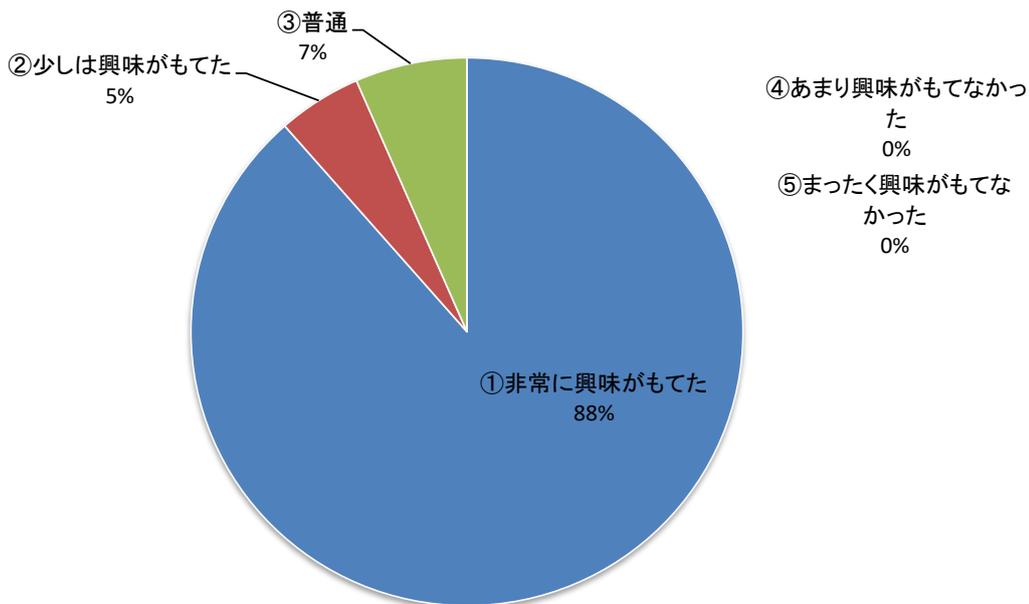
授業を受けるにあたってシラバスを利用しましたか	回答数 (人)	%
①利用し非常に役に立った	33	54%
②利用し少しは役に立った	24	39%
③利用したがあまり役に立たなかった	2	3%
④ほとんど利用しなかった	2	3%
⑤読んだことがない	0	0%



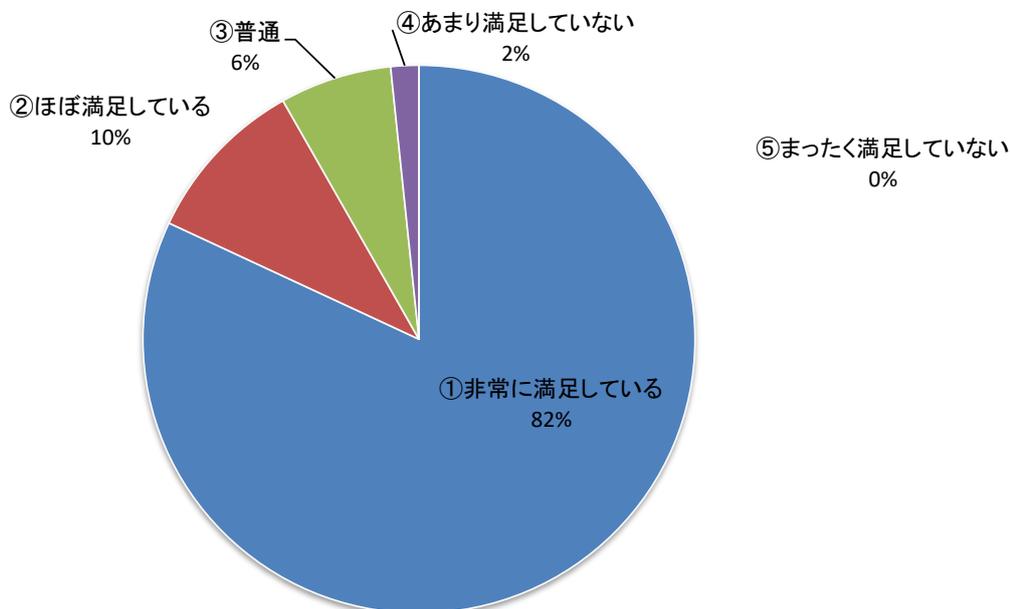
## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
 機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
 計 61名/65名中

修士論文の研究内容に興味がありましたか	回答数 (人)	%
①非常に興味をもてた	54	89%
②少しは興味をもてた	3	5%
③普通	4	7%
④あまり興味をもてなかった	0	0%
⑤まったく興味をもてなかった	0	0%



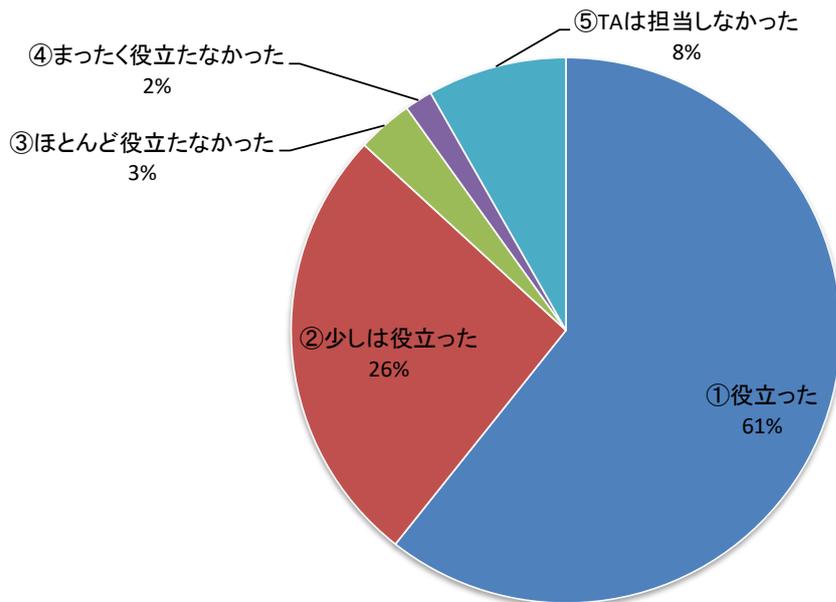
指導教員の研究指導方法について満足していますか	回答数 (人)	%
①非常に満足している	50	82%
②ほぼ満足している	6	10%
③普通	4	7%
④あまり満足していない	1	2%
⑤まったく満足していない	0	0%



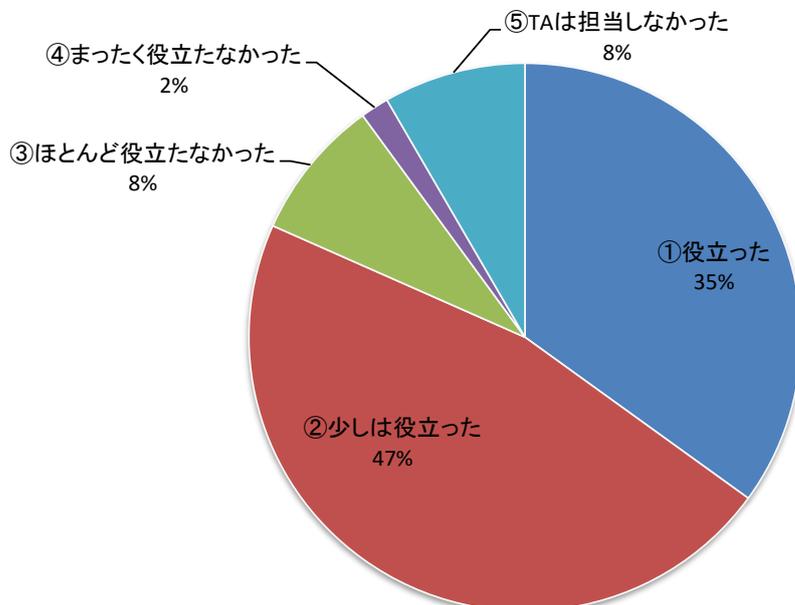
## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
計 61名/65名中

ティーチングアシスタント(TA)制度はあなたにとって <u>教育的観点</u> から役立ったと思いますか	回答数 (人)	%
①役立った	37	61%
②少しは役立った	16	26%
③ほとんど役立たなかった	2	3%
④まったく役立たなかった	1	2%
⑤TAは担当しなかった	5	8%



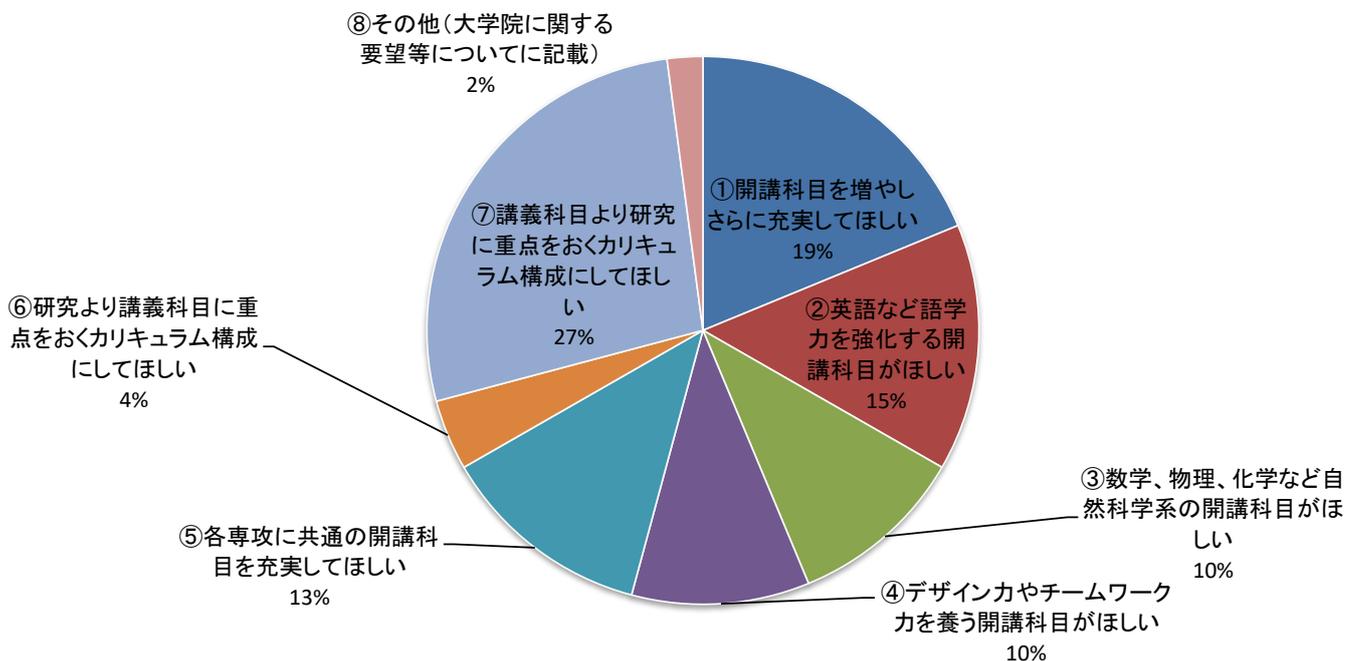
ティーチングアシスタント(TA)制度はあなたにとって <u>経済的観点</u> から役立ったと思いますか	回答数 (人)	%
①役立った	21	35%
②少しは役立った	28	47%
③ほとんど役立たなかった	5	8%
④まったく役立たなかった	1	2%
⑤TAは担当しなかった	5	8%



## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
 機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
 計 61名/65名中

今後の大学院カリキュラム等の改善に期待するものはなんですか(複数回答可)	回答数(人)	%
①開講科目を増やしさらに充実してほしい	18	19%
②英語など語学力を強化する開講科目がほしい	14	15%
③数学、物理、化学など自然科学系の開講科目がほしい	10	10%
④デザイン力やチームワーク力を養う開講科目がほしい	10	10%
⑤各専攻に共通の開講科目を充実してほしい	12	13%
⑥研究より講義科目に重点をおくカリキュラム構成にしてほしい	4	4%
⑦講義科目より研究に重点をおくカリキュラム構成にしてほしい	26	27%
⑧その他(大学院に関する要望等についてに記載)	2	2%



## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
 機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
 計 61名/65名中

講義科目の中で、分かりやすく印象に残っている科目を3つ以内であげてください

### 機械工学

対象者1名のため公表しない

### 電気電子工学

移動通信システムとその応用	1
光物性工学特論	4
C言語による数値計算	7
計測工学特論	2
ロボット家電	2
照明・音響工学	2
電気磁気学特論	7
総合プロジェクト	3
回路解析特論	1
AI演習	5
医用画像工学	4
特許・知的財産論	1
光通信デバイス特論	2
ネットワークとHEMS	1
通信用電子計測技術	2
電子回路特論	1
電気電子制御特論	1

### 応用化学・バイオサイエンス

微生物制御学	2
サイエンスコミュニケーション	2
細胞生物学特論	1
環境毒性学	2
生物化学特論	2
化学特論	2
環境化学特論	1
生体応答学	1
高分子化学特論	1
機能性高分子特論	1
総合プロジェクト	1

※教育課程表にない科目名については、集計に含めていない  
 応用化学・バイオサイエンス専攻1件

### 機械システム工学

流体システム工学特論	1
自動運転要素技術特論	4
カーエレクトロニクス特論	2
電気自動車特論	1
ワイヤレス技術応用特論	2
創造的問題解決法特論 I	1
ヴィークルダイナミクス特論 I	2
ヴィークルダイナミクス特論 II	2
ステアリングシステム開発特論	1
特許・知的財産論	1

### 情報工学

ソフトウェア工学特論	2
IoTと知能情報処理技術特論	1
パターン認識・理解特論	1
流通情報システム特論	2
知的生産システム工学特論	2
画像認識工学特論	2
AI演習	3
ネットワークコンピューティング特論	1
移動体通信特論	1
情報セキュリティマネージメント特論	1
エンタテインメント技術特論	1
インターネットセキュリティ特論	1
Technical English	1
Communication in English	1
高臨場感メディア技術	1
インタラクションデザイン特論	1
IoTシステムデザイン特論	1
コンピュータグラフィックス特論	1
連続体シミュレーション特論	1
文字認識特論	1
セキュリティ応用特論	1
数値計算処理特論	1

### ロボット・メカトロニクスシステム

IoTと知能情報処理技術特論	1
メカトロニクス特論	2
総合プロジェクト	1
知能機械設計工学	2
インテリジェントセンシング	1
医療機器構成要素論	1
健康科学特論	1
デジタルシステム	1

## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
 機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
 計 61名/65名中

講義科目の中で、難しくてほとんど理解できなかった科目を3つ以内であげてください

### 機械工学

対象者1名のため公表しない

### 電気電子工学

電気電子制御特論	1
半導体デバイス工学特論	4
応用数学特論	1
量子コンピュータ概論	4
LSI設計とプロセス技術	1
総合プロジェクト	2
家電システム工学	1
AI演習	3
化学特論	1
ロボット家電	1

### 応用化学・バイオサイエンス

総合プロジェクト	2
有機化学特論	1
食品栄養学特論	2
機能性高分子特論	1
高分子化学特論	1

### 機械システム工学

機械システム制御	3
カーエレクトロニクス特論	1
電気自動車特論	1
ステアリングシステム開発特論	1

### 情報工学

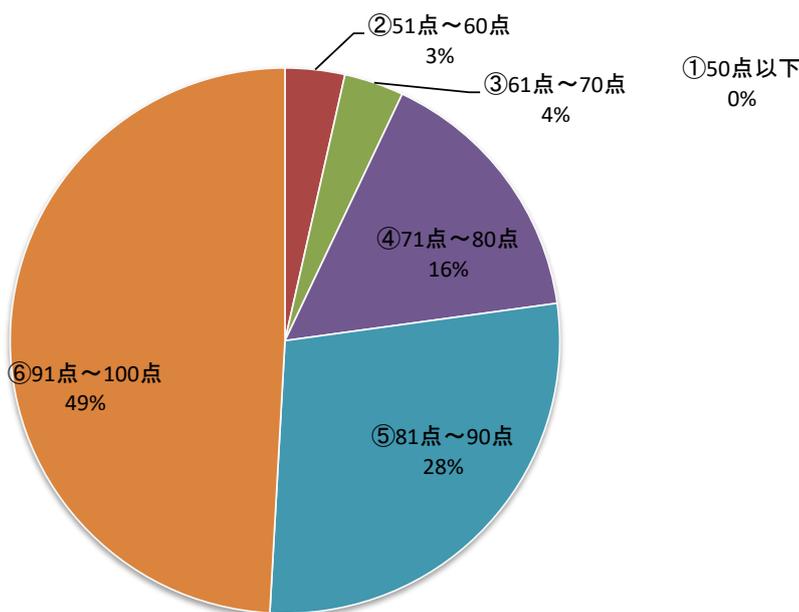
ワイヤレス通信特論	1
応用数学特論	1
エンタテインメント技術特論	1
IoTと知能情報処理技術特論	1
IoTシステムデザイン特論	1

### ロボット・メカトロニクスシステム

デジタルシステム	1
健康科学特論	1
ヒューマン・マシンインタフェース	1

※教育課程表にない科目名については、集計に含めていない  
 電気電子工学専攻1件  
 応用化学・バイオサイエンス専攻2件  
 情報工学専攻2件

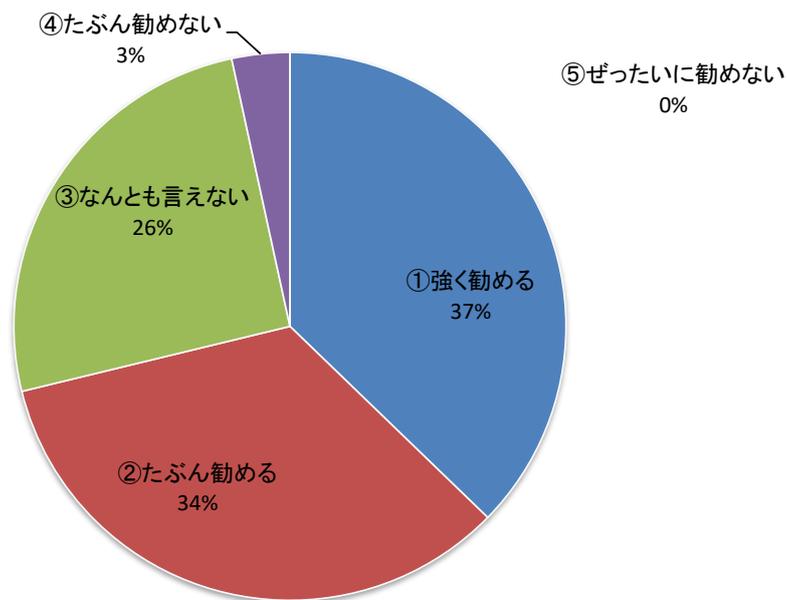
総合的に見て、大学院に在学した満足度(100点満点)はどのくらいですか	回答数(人)	%
①50点以下	0	0%
②51点～60点	2	4%
③61点～70点	2	4%
④71点～80点	9	16%
⑤81点～90点	16	28%
⑥91点～100点	28	49%



## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
計 61名/65名中

大学院進学を後輩へ勧めますか	回答数 (人)	%
①強く勧める	22	39%
②たぶん勧める	20	35%
③なんとも言えない	15	26%
④たぶん勧めない	2	4%
⑤ぜったいに勧めない	0	0%



## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
計 61名/65名中

### 大学院進学を後輩へ勧める理由

#### (MM)

対象者1名のため公表しない

#### (ME)

- その後のキャリアに繋げれる「野心」があればススメたい。
- 就職活動がやりやすかったから。
- 自分が正しく過ごせていたかわからない。
- 目的や目標を決めた上で行動していけば、2年間で貴重な経験をたくさん積むことができるから。
- 大学院で勉強以外にも多くのことを学ぶことができ、社会へ出ることの心配や抵抗感が軽くなった。  
学費が100万になったので、少し勧めづらい。
- より良い体験から自己研鑽できたため。
- 研究したいと思わないと進んでも意味がない。
- 自分で原因、解決策を考えるなど、大学院でしか積めない経験ができるから。
- 充実した研究生活であったため。
- 興味・関心のあることについて研究のできる貴重な機会。
- 授業料の増加による負担、TAの賃金が低いことから、経済的負担が大きく、とても研究に集中できる状況にない。
- 自身の研究や、他人の研究に対する興味関心が増え、新たな知見を身に付けられる為。就活で有利。
- 学費の増加がある。スキルアップが見込める。
- 研究を通して物事への理解が深まったため。
- 学ぶことが多く、お金をかけてでも経験すべき。
- 専門知識のみではなく、他社を説得する力や技術文書の書き方など一生使える力を身に付けることができる。
- 本人の意欲が重要であるから。
- 学会等、外部の交流がある。卒研よりも研究が充実するから。

#### (MC)

- 自分達の代は、学費が(年)60万円程度と国公立の大学院と同水準であったため、金銭的にも進学しやすかったが、1つ下の代から値上げしてしまったので、勧めるかどうかは難しい。
- 経済的な余裕と学びたい意欲があれば院進はアリだと思う。
- 大学より学ぶことが難しくなりますが、もっと深い知識を学びたい後輩たちに勧めます。
- しっかりと目的があるなら良いと思う。
- 論理的思考力や複数のタスクをこなす力がみにつく人間力。
- 研究がやりたければ、入ればいいと思う。
- 思考力が学部より確実に上がった。
- 大人として社会に出ていくにあたって、大学生は思った以上に未熟だから、その弱点に向き合うのは学生としてでないともりだから。
- 研究たのしい!
- 社会勉強になる。思考力が鍛えられる。

#### (MS)

- 自分の研究を発展させることができるため。  
学会発表や論文投稿を通じて、社会人になっても役に立つ知識や経験が得られるため。
- 大学院での活動というのは、学部の時と違い、本人の主体性がカギになると考えます。  
「大学院進学」は、誰かに勧める価値はあると思います。しかし、誰かに勧められて進学するのは、良くないと考えたため、③にしました。(後輩本人が望むなら勧めます)
- より深く研究をしたい人や知識を深めたいという人にも勧めるが、私自身、経済的な部分が少し苦しかったため、そのような人には無理にはお勧めしない。
- 自分で研究を進める力や発表力などを身につけることができる。課題解決力も、社会に出て必要な力がつく。

#### (MI)

- 勉強と研究両立できる環境があるから。
- もし自学自習が可能であれば、大学院に進学してください。
- 学びが多く、院生でしかできない経験がある。
- 様々なITに関する先端技術に触れる機会が多い。
- 自立した生活を学ぶことができる。
- 自分の専門分野を深く知るきっかけになるため。
- 学部では足りない部分も含めて学ぶことができたため。

#### (MR)

## 2024年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 1名/1名中、電気電子工学 24名/24名中、応用化学・バイオサイエンス 12名/13名中、  
機械システム工学 7名/8名中、情報工学 13名/15名中、ロボット・メカトロニクスシステム 4名/4名中  
計 61名/65名中

- 先生との距離が近い授業が多く、おもしろい話を体験をもとに話してくれるため、ためになる。
- 今までよりもより専門的な知識を学ぶことができ、学部の時より広い視野を得ることができるため。
- 楽しいから。

### 大学院に関する要望等について、自由に記入してください

#### (MM)

対象者1名のため公表しない

#### (ME)

- 学費下げしてほしいです。
- TAの給料が学内アルバイトと差別化出来る金額ではない。最低でも100円は差があっても良い作業もある。
- TAの時給を上げてほしいです。また、テストの採点により規定の時間をオーバーすることもあるので、1コマ当たりの時間を増やして欲しいです。  
学費の問題で、進学を諦めてしまう人もいるので、補助制度の充実などお願いします。
- TAは教育的観点から役立つと思いますが、時代に合わせて給料を上げていかないと割に合わないと思います。
- TAの賃金が最低賃金に改正されない。
- TAの時給がずっと定額であるのが納得いきません。理由として、最低賃金が上がっているため、そして、大学院の学費も上がっているため、学生の負担が増えることが容易にそうぞうできる。
- 最低賃金が上がっているにもかかわらず、TAの賃金が改正されないのは納得がいかない。  
学生の負担が授業料の増加で上がっているにも関わらず、大学院の進学者も減少していることからTAの負担が増えるといった課題を解決してほしい。  
本校は、研究活動が売りであるはずなのに、研究力が落ちるような方針は変えて欲しい。
- TAの業務を事前に把握しておきたかった。
- 学部生に対してより院進を勧めても良いと思います。それ程までに得た物の量・質が高かったです。

#### (MC)

- 神奈川県間の大学院協定を利用して研究を進めたり、授業を受けることが修士の間でできました。  
この制度で進学や研究への幅が広がりました。継続して欲しい制度です。
- 研究活動で一般学生との登下校リズムが少し異なるため、少し急行バスの本数の見直してほしいです。  
(朝9時台と夜19時台)

#### (MS)

- 学会発表時の宿泊費の負担を支援して欲しいと感じました。  
TAがある講義をもう少し増やしてほしいです。  
C5号館内に飲み物の自動販売機を設置して頂けるとありがたいと感じました。  
学食支援は非常にありがたかったです。
- 電気や情報系の科目を増やして欲しいです。(できれば、自動車関連の講義を増やして欲しいです。)
- 連日開催の学会では、宿泊を許可してほしい。

#### (MI)

- 国際的にイベント交流がほしい。
- 学年が上がる時のガイダンスが欲しい。
- TAの給与を上げてほしい。
- TAの時給が低すぎる。学生アルバイトとほぼ同じなのは…

#### (MR)

- 別の研究科や学科の講義を履修できる・しやすくしていただけると、より多くのことが学ぶことができ、研究などに活かすことができるのではないかと思います。
- 学生課が閉まるのが早すぎる。購買の開店日を増やしてほしい。昼ご飯を食べる時間が短い。